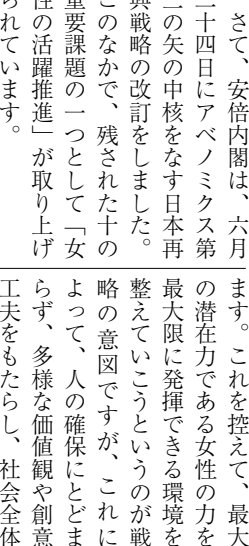




文部科学省科学技術・学術政策局長
川上 伸昭



日本はこれから急速な人口減少社会に突入していきます。活力を与えることができるとされています。そして

(株)建帛社社長 筑紫恒男

日頃より弊社刊行物にはご高配賜りまして有り難うございました。『建帛社だより 土筆』が本年で一〇〇号を迎えました。

の忙しい月に本紙を編集することとが難しいことから、昭和四十九年以降は、年二回（一月と九月）の発行になりました。

動を展開できるようになった年だと思えます。私自身は大学二年生で、毎週当社の本を神田の取次店に配本してから通学して

本紙は、当社出版物の紹介を兼ね、出版分野関係の動向、学生と接しての情報、新しい考えなどを先生方にお書きいただき、お役立ていただくことを目的としています。毎号十名ほどの先生にご寄稿いただき、多くの方々の支えの基、継続して発行させていただいております。ここに感謝申し上げます。

お届け先は、当社出版分野の先生方です。当初は女子大学・短期大学の、家政・食品栄養・保育関係分野の先生方が中心で約三千名ほどでした。その後出版分野の拡大、学校の新増設などにより、現在の発行部数は約二万三千部になっています。

増加しており、大学の新社が創刊当時は年々高校卒業生が和の時代）には各学校からいただいた教員名簿を元にお届けし、

本紙「土筆」は弊社創業八年目に当たる昭和四十二年四月に第一号を発行、当初は年三回発行していましたが、教科書編集

新設は大学二十二校、短大三十校、増設は大学十五校、短大三十校でした。当社関係では短大の者がお伺いした折にいたたい

て、具体的に、育児を支援するために数値目標を定めるために保育士の育成や再就職支援を行う、育児経験豊かな主婦などを対象に研修を実施して、子育ての支援員としていくといった施策を行っています。

また、二〇二〇年に指導的地位を占める女性の割合を三〇％にするという目標を立て、その実現のために行動計画を求めていくということも検討されることになっていきます。ここに出された女性の活躍支援策は、これまでのものと比べて格段に具体的で、かつ総合的な内容となっていて、安倍政権の本気度を表すものになっています。

月に女性職員活躍推進プログラムを決め、平成二十七年
度の採用者の女性割合を四
〇％以上とし、同年度末の管
理職も一〇％とするという
目標を立てて取り組むこと

新増設が多く、
新設校ができ
出します。

た公表資料、
生など、随時
やしておりま
分な対応がと

にしました。昔から男くさいと思われる中央官庁も今、変わろうとしているのです。これと併行して科学技術行政では、女性研究者の活躍の場を広げる取り組みをしているところです。現在、日本の女性研究者の割合は一四％と主要国の中で

言わざるを得ません。英国でもアカデミックスタッフに占める女性割合が四五％であるのに対して教授職は二一％に過ぎず、強い危機感が示されています。

女性研究者の数や指導的立場にあるそれがなぜ少ないのか、その理由を聞いた

は格段に低い割合になっています。特に、企業での割合は八%と、極端に低い数字に留まっています。日本の産業構造がものづくり産業に偏っており、もともと女子学生が少ない工学部からの人材を多く採用しているために、割合が低いという分析がありますが、それだけでは説明のつかない問題であると思われます。企業の奮起を求めたいところです。

アンケート調査があります。昨年、男女共同参画学協会連絡会が行ったものですが、その答えには、「家庭との両立が困難」といった想定できる理由の中に混ざって「ロールモデルが少なく」と指摘する声が少ないからずありました。

これまで、出産などで研究を離れた女性の空白を補う人材の補充や復帰の支援といったライフイベントをやり過ごす施策に取り組ん

また、大学において職位
 が上がるにつれて女性の割
 合が低くなるということは
 日本ばかりでなく外国にお
 いても同様です。俗に言う
 「ガラスの天井」があると
 できましたが、女性のロー
 ルモデルとなる経験豊かな
 女性研究者を早くつくって
 いくことも大切だというこ
 とになりました。指導的地
 位につく女性の割合を上げ

名刺を頂戴した先紙が届いてない方がお近くにお
お送りする数を増いででしたら、是非ご連絡いた
すが、異動等に十だきたくお願い致します。ま
れていません。本た、ご異動や離職されました折
読

指導的立場にいる女性
は、後輩にとって、キャリ
アパスを描く対象になるば
かりでなく、キャリアプラ
ンに悩む女性のメンタル面
に

でのサポート役としても期待されるようです。指導的地位への女性進出を歓迎していきたいと思います。

国立大学の保育施設設置状況の推移を表す統計によると平成二十五年には八十一%の大学に保育施設が設けられています。その五年前は二九%でしたので急速な変化と言えます。人の入れ替えには時間がかかりますのでそういった環境整備の成果が女性研究者の数に現れ

にくいのですが、今後著実に増加していくことが期待できます。女性研究者の能力を十分に引き出し、日本の科学界の発展を加速していくべきであると考えます。

「はい、新たなお送り先をご連絡
 いただければ幸甚です。
 後とも是非『土筆』をご愛
 さい。」

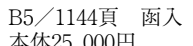
〔表示は本体価格〕税別〕

専門領域の最新情報

翻訳監修 国際生命科学研究所機構 (IISI Japan) 会長 木村修一
(独) 国立健康・栄養研究所理事長 古野純典
翻訳編集委員 小川佳宏・桑田 有・駒井三千夫・武田英二

五年ごとに改訂される『Present Knowledge in Nutrition [10th Edition]』を翻訳した最新版。

○食品・栄養 関連医学における最新研究を評述。
○エビデネティクス、システム生物学など前版刊行時に新潮流として取り上げられた研究実践を新たな章立てとして収載。研究に必須の文献も多数掲載。



リン研究の最前線

昨年開催の日本栄養・食糧学会大会シンポジウム「ミネラル摂取と老化制御」を基に最新の研究成果をまとめる。リン代謝系の中核であるF6P23Kcho系の発見により、推測するリン研究について、食生活習慣に起因するリン過不足と疾患、代謝と老化制御・疾患との関わりに迫る。

—食の薬効を採る—

・私たちが日常的に食べるものには、古来より様々な薬としての効能があることが知られており、色々な形で継承されてきた。それらの食の薬効を科学的に解き明かす。

魚と木の仿葺

東日本震災を振り返る――
首都直下型地震に備える――

・災害とその復興時に食はどうあるべきか。保存や備蓄に重
要な非常食・乳幼児・高齢者・食事制限者に必要な災害食
など、災害時の食の課題を新食品開発も含め論じる。

支援と仮設住宅

——家政学が守守る石巻の2年半——

日本家政学会と石巻専修大学が連携し、被災地の生活復興に貢献すべく家政学的研究に取り组んで、被災地で行った聞き取り調査や生活活動の記録として、2年半の研究成果をまとめる。

| 理論と実践 |

・今日の家族問題を予防、解決、専門家支援の視点から学ぶように、支援のために効果的なワークショップを交えて展開する。

人々、作新紀一

・国際化の中でのアジア諸国の伝統文化の教育について
語、歴史、美術、音楽、国際理解教育の分野に焦点を当て、6か国の研究者が自国教育の国際化を論考する。

[illegible]

認知症の人の徘徊

今井 幸 充

徘徊は、認知症を代表する行動障害のひとつで、その初期から中期に多く出現する。広辞苑によると「どこともなく歩きまわること」であり、一般の人が本人の意思で歩き回るのは異なり、見当識や記憶障害など脳機能障害により生じる。また判断力も冒されるため、道に迷ったら、どうしたらよいのか混乱してしまふ。徘徊にまつわる衝撃的なニュースが最近話題となった。平成十九十二月に愛知県大府市のJ R東海共和駅構内で、認知症で要介護四の男性(当時九十一歳)が徘徊中列車にはねられ死亡した。J R側がこの事故の損害賠償を家族に求めた訴訟の判決公判で、一番の名古屋地裁では、介護者の妻(当時八十五歳)とその長男にはば請求額どおりの約七百六十万円の支払いを命

じ、二審の名古屋高裁では、妻のみに夫の監督責任を認め、約三百五十九万円の支払いを命じた。この判決結果に多くの関係者は驚き、家族は二十四時間監視しなければならぬのか、妻への監督責任義務は現実を無視した不当なもの、といった議論が飛び交った。しかし、この事故の損害をJ R側が負うのもまた不合理である。うつ病の人が列車に飛び込み自殺したときは、その賠償責任は家族にある。それゆえ、法の下の平等を考えると、妻への賠償責任は免れないのかもしれない。

N H Kの調べでは、平成十七、二十五年の九年間に認知症の人の鉄道事故は七十六件で、そのうち六十四人が死亡している。この現実を深刻に受け止め、各自治体は、川崎市のように「徘徊高齢者S O S ネットワーク」などの地域連絡システムを早急に整備構築すべきである。また国や鉄道会社は、車の衝突被害軽減ブレーキのような安全装置の技術開発を進め、事故防止に努めるべきである。このたびの判決で介護者の監督責任を問うのであれば、以前から指摘されていた高齢者踏切事故の防止対策の遅れと、その杜撰さも責められるべきで、J R側の責任も問うべきである。認知症の人は、いまの物質文明の被害者と言ってもよい。

平成二十六年六月の朝日新聞デジタルによると、平成二十五年年度に家族などの介護者から捜索願が警察に出された認知症高齢者は一万三千三十二人で、そのうち百五十一人の所在が本年四月時点で確認できていない。さらに十三人が住所、氏名が不明ということであった。平成二十六年五月には、群馬県内の介護施設

で身元不明者として七年間保護されていた認知症女性がN H Kの番組で紹介され、江東区在住の夫が名乗り出て再会したニュースも衝撃的であった。今や六十五歳以上で認知症の人は約四百六十万人で、八十五歳を超えると約半数が認知症と言われる。また認知症予備軍の軽度認知障害(M C I)は約四百万人で、認知症の人は、その予備軍を含めると九百万、一千万人の時代となった。この現状からも認知症はごく身近な疾患として関心が高まり、将来に向けた認知症政策の重要性が強調された。その矢先に二つの事件が報じられ、改めて認知症の徘徊問題を考えさせられたのである。

(医療法人社団翠会和光病院院長・一般社団法人日本認知症ケア学会副理事長)

クラウド型医療システムによる災害時リスク管理

野田 雅 司

東日本大震災のような大規模災害の際、その地域で受療していた人びとへの継続した医療の提供は大きな課題である。カルテの消失や電子カルテのサーバーダウンなどのような状況では、患者にどのような薬を投薬していたかの情報確認さえ、難しい。

東日本大震災では、石巻市立病院を津波が直撃し、サーバーなどを破壊したが、幸いなことに、そのひと月前(二〇一一年二月)から災害対策として隣県の山形市立病院済生館と互いの電子カルテサーバーを病院内に持ち合い、毎日のデータを相互に保存するシ

ステムを運用していたため、消失したデータをネットワーク経由で確認しながら保存し共有するシステムの構築が始まっている。南海トラフ巨大地震による甚大な被害が想定される高知県では、県内の十三病院が津波による浸水被害の可能性が低い県外のサーバーへのデータ保存を目的とした「県医療情報通信技術(I C T)連絡協議会」を設立した。協議会と協議に参加する医療機関が実施する「災害時診療情報バックアップシステム構築事業」と「医療機関外部サーバー接続事業」に要する経費に対し、「平成二十五年度高知県診療情報保全基盤整備事業費補助金」が約四億六千万円の範囲内で交付されている。

愛知県は、厚生労働省の「平成二十四年度地域診療情報連携推進費補助金」を活用した「愛知メディカルB C Pネットワーク」の運用を開始した。これは県内の六病院と富士通が共同で構築したシステムで、災害時に診療を継続するためのバックアップシステムである。六病院のいずれかの電子カルテが被災した場合でも、他の参加病院や避難所などからのデータを使い診療活動を継続することができる。総務省は、I C Tを活用した東日本大震災からの復

東日本大震災当日、私は北海道大学のセミナーに出席していた。地震が起こったのは、私の次の演者の講演が始まったときであった。セミナーは結局最後まで進んだ。休憩のときにワンセグで岩沼市上空からの画像を見た。知っている地域であったから、被害規模は想像がついた。手のひらに汗がにじむ程度の興奮はしていたが、妙に醒めていた。現場での指揮を執れないことになったが、後悔をしても役には立たない。次に何を

できることはできない。理工学部長をはじめ、能力のある管理職などが被災者だった。学生が六名亡くなった。子を亡くした親の嘆きは想像を絶する。生まれた順に死ぬことの尊さが心にしみた。

被災した学生の多くは心に深い傷を負った。しかし、だれが傷ついているのかはわからない。外見は元気なのだ。しかし、奨学金の

募集がきても応募者がいなかった。応募する気持ちになれなかったのだ。職員が被害のひどかった学生を呼び出して、ほぼ強制的に記入させた。

私は遺体を見ないようにしていた。心に傷を負ってはいけなかった。考えたからだ。身の回りに人的被害はなく、一階は浸水したが、二階で暮らせた。石巻の市街地では平均的な被害だ。しかし、罹災証明を申請する気持ちになるまでにか月半かかった。理由はうまく説明できない。数日停電しただけの被害で被災証明をもらって、自動車道を無料で走る人たちには大きな違和感をもった。こうした感覚は、当事者でなければわからないのだろうし、当事者の間でも一人ひとり違う。そのことを前提にした施策を考えることが、私たちの大きな課題だ。

(石巻専修大学学長・理工学部教授)

東日本大震災以降の心模様

坂 田 隆

十六時頃に大学と電話がつながった。学内の死傷者はなし。施設・設備にも深刻な被害はなく、安全確認をして実験棟を閉鎖したこと、自家発電が稼働し、上水タ

翌日の朝、札幌から神田神保町の法人本部に移動し、安否確認や学生・教職員の支援、入試などの手当をした。大学にいる人たちは

できないことはできない。理工学部の部長をはじめ、能力のある管理職などが被災者だった。学生が六名亡くなった。子を亡くした親の嘆きは想像を絶する。生まれた順に死ぬことの尊さが心にしみた。

被災した学生の多くは心に深い傷を負った。しかし、だれが傷ついているのかはわからない。外見は元気なのだ。しかし、奨学金の

募集がきても応募者がいなかった。応募する気持ちになれなかったのだ。職員が被害のひどかった学生を呼び出して、ほぼ強制的に記入させた。

私は遺体を見ないようにしていた。心に傷を負ってはいけなかった。考えたからだ。身の回りに人的被害はなく、一階は浸水したが、二階で暮らせた。石巻の市街地では平均的な被害だ。しかし、罹災証明を申請する気持ちになるまでにか月半かかった。理由はうまく説明できない。数日停電しただけの被害で被災証明をもらって、自動車道を無料で走る人たちには大きな違和感をもった。こうした感覚は、当事者でなければわからないのだろうし、当事者の間でも一人ひとり違う。そのことを前提にした施策を考えることが、私たちの大きな課題だ。

(石巻専修大学学長・理工学部教授)

新刊教科書 (表示は本体価格(税別))

カレント管理栄養士養成シリーズ

社会・環境と健康：公衆衛生学 北田善三・須崎 尚 編著 B5 208頁 2400円

基礎 栄 養 学 木元幸一・中島 滋 編著 B5 216頁 2500円

公衆 栄 養 学 由田克士・押野榮司 編著 B5 224頁 2600円

給食経営管理論 宮澤節子・松井元子 編著 B5 256頁 2900円

(シリーズ続刊)

人体の構造と機能及び疾病の成り立ち1 志村三夫・石田 均 編著 B5 208頁 2400円

人体の構造と機能及び疾病の成り立ち2 志村三夫・石田 均 編著 B5 304頁 3400円

食・物と健康：食品衛生学 川井英一・丸井正樹 編著 B5 216頁 2500円

応 用 栄 養 学 辻 悦子 編著 B5 240頁 2700円

臨床 栄 養 学 明渡陽子・長谷川輝美 編著 B5 352頁 3800円

Nブックス 改訂 健康 管理 論 宮城重二 編著 B5 168頁 2100円

Nブックス 改訂 運動生理・栄養学 伊達らぐみ・松村康弘 編著 B5 184頁 2200円

三訂 公衆衛生学 和田淑子・大越ひろ 編著 B5 272頁 3500円

管理栄養士講座 三訂 健康・調理の科学 おいしさから健康へ1 小関正道 編著 B5 232頁 3000円

新版 マスター食品学Ⅰ 西堀すき江 編著 B5 192頁 2500円

新版 微生物と免疫 林 修 編著 B5 176頁 2500円

健康づくりの栄養学 小林修平 編著 B5 144頁 2200円

基礎から学ぶ 食品化学実験テキスト 谷口重樹・古庄 律 編著 B5 184頁 2300円

基礎からの 改訂 食品・栄養学実験 村上俊男 編著 B5 152頁 2200円

栄養学 実験実習・演習 渡邊早苗・山田和彦 編著 A4 104頁 2000円

栄養士養成課程のための 改訂 臨床栄養学実習 フローチャートで学ぶ臨床栄養管理1 橋ゆかり・森美奈子 編著 B5 104頁 2200円

栄養学 実験実習・演習 中村富子・高岸和子 編著 A4 128頁 2600円

三訂 給食運営管理実習・学内編 殿塚陽美子・三好恵子 編著 B5 112頁 2100円

三訂 フードサービス実習 日本フード スペシャルリスト協会 編 A5 200頁 1900円

三訂 食品の官能評価・鑑別演習 日本フード スペシャルリスト協会 編 A5 264頁 2200円

NSTのための 疾患診断・治療と臨床検査の基礎知識 津田中明・加藤昌彦 編著 B5 160頁 2300円

・NST活動の中心的役割を果たす立場にある管理栄養士として、習得しておくことが要求される臨床知識を、国家試験ガイドラインに即し詳説する。

地域食・伝統食は 機能性食品科学のシーズ

大 東 肇

機能性食品という用語が世に登場してから三十余年。この間、関連学術や応用開発において着実な発展があった。その成果の最たるものは特定保健用食品（トクホ）と区分けされる食製品の出現であろう。

食の健康機能において科学的根拠を求める方向性はますます重要となってきたが、よくよく掘り下げてみれば、機能性食品の原点は地域食・伝統食にあると考えられる。例えば、トクホ製品として最大の成功例であるプロおよびプリバイオティクスの世界は、長寿域における腸内善玉菌（乳酸菌など）の摂取慣習がその源となっている。魚油（DHAやEPAなど）の世界も、心臓病や血栓な

ものがあ。筆者には、ここに機能性食品の真髄が隠されているように思える。例えば、玄米を原料に十九世紀初頭に「地域食」として生まれた醸造食品・黒酢である。米酢などに比べ著しく強い抗酸化性を有し、抗肥満、血圧降下、がん予防性などのほか、最近では、先のレスベラトロールは、先の大腸がんの活性を促すことが科学的に立証されつつある。古来よりわが国の食品として重要であった漬物も、よく考えてみると興味深い機能性食品である。すなわち、沢庵な

もう過ぎた。あくまで、最新の科学に則った精緻な研究が求められることは当然のことである。機能性食品は、先人の努力・知恵により創成された折角の世界である。研ぎ澄ました目で優れた素材を発掘し、その健康機能の検証や秘伝とも思われる製造法を精緻に解析するなど、まだまだ関連領域科学においてなすべきことは多い。これらを通じてもたらされる大いなる成果の恩恵に浴したいものである。

もの」を例とし、「保育者自身」に有益と思われる内容を提案してくる。一方、私たちは、保育の基幹となる保育課程の基本的な構造に基づく実践計画、いわば「子どもの育ち」に焦点を当てた保育技術等を提案していく。どちらも重要なことであるが、優先すべきテーマに隔たりがあり、折り合いをつける難しさを実感する次第である。

あるとき、研修管理者から思わぬ本音を聞いた。「職員は日々の実践で疲弊しているのだから」という発言だった。保育者研修のあるべき姿に、一石を投じる発言であった。そのとき私は三十年前の自分を振り返り、研修の効果を出していた。他園の保育者に出会う喜びや外部講師による指示は、実践を向上させようと願う私にとって、価値はあっても負担に思うことはなかった。しかし時代とともに保育者の役割が多岐にわたったことで、研修の機会が増え、当事者にとって研修の意味もさまざまになっていくようになった。研修を通して自己の専門性を高めていくという研修パラダイムは、講師側の一方通行なのだろうか。養成学校の教員間では、「そもそも保育者は専門家としての意識を持つ」としてはいるのか」という問いさえ出ている。研修を通して保育者は何を得ようとしているのか。

保育者研修雑感

小 泉 裕 子

子どもの育つ環境が著しく変化する中で、研修制度を管理担当する方々の苦

そのあり方について問いを投げかけた。筆者は、保育士研修プランに定期的にかかわる機会がある。ここ数年、研修内容の調整に悩むことがある。研修管理者は、現職者のニーズを取りあげていく方針を主張し「実践に役立つもの、身体を動かし業務上のストレスを分散させる

書きばかりの充実よりも、日々の内的充実を願った研修を求めているのだろうか。では保育者研修は、現職者の内的充実を図るためにあるべきか、というところだけではない。子どもは、保護者の前に批判的に問いたい。保育者は子どもや保護者の前において「保育の専門家」でなければならぬと筆者は考える。保育に疲弊する保育者がいるならば、むしろ、園の方針に信頼を置き園児の保育は任せてほしいという精神的宣誓をするくらいの良い実践をするべきではないか。子どもの保育に対する期待や信頼を裏切らない質の高い保育を実践することこそ、保育の専門家としての使命ではないだろうか。

子どもは、保護者の前に批判的に問いたい。保育者は子どもや保護者の前において「保育の専門家」でなければならぬと筆者は考える。保育に疲弊する保育者がいるならば、むしろ、園の方針に信頼を置き園児の保育は任せてほしいという精神的宣誓をするくらいの良い実践をするべきではないか。子どもの保育に対する期待や信頼を裏切らない質の高い保育を実践することこそ、保育の専門家としての使命ではないだろうか。

世界の旅と食

筒 井 知 己

大学の夏休みに、家族と海外の風物を見物するようになってから十数年が過ぎた。当初は八〜十日の程の旅だったが、近年は三〜四日程の旅が多くなった。理由は、昔は大学で時間ゆとりがあったことと、愛犬も若く元気な状態で、獣医に預けても体調を崩すことなく元気に帰ってきたからである。最近では大学も忙しく、犬も長期の宿泊では体調を崩すようになってしまった。

十日間程のツアーに参加していた頃、自由時間には暑さも気にせず町を駆け足で回り、食料品店やスーパーマーケットをのぞいた。トルコでは多数の野菜、果実等が売られていて、南部のアンタルヤのジャム専門店では、果実以外に野菜（ナス、スイカなど）や花のジャムを見つけた。スーパーマーケットでは日本同様、様々な食品が売られていたが、二〜三入りのヨーグルトを見つけ、いかにヨーグルトの消費量が多いかを

痛感した。洞窟住居を訪問し、チャイ（紅茶）をこちそうになった。この国ではお茶でもてなすという風習が根づいており、日本との共通点を見た。部屋の片隅には、小さな機械織り機が置かれていた。奥さんが何か月もかけて絨毯を織るそう。これが家計を助ける貴重な収入源になっているという。

た生地を焼いたトルティーヤを食べる。チチェンイツァの古代マヤ遺跡の神殿に刻まれた、感謝の意を込めたトウモロコシの絵を見て感激した。

近年はアジアを中心に訪れることが多く。昨年はベトナム、その前は台湾、さらに香港、フィリピン（セブ）、サイパン、北京、ソウル（東京聖栄大学教授）

新刊教科書

（表示は本体価格（税別））

新しい家族関係学

長津美代子・小澤千穂子 編著

結び編む・組む・織る・縫う

石井照子・多田敦子 共著

新版 基礎から学ぶ学校保健

瀧澤利行 編著

保育カリキュラム論

豊田和子・新井美保子 編著

はじめて学ぶ社会福祉

松本峰雄・小野澤昇 編著

児童家庭福祉の相談援助

相澤譲治・井村圭社 編著

児童家庭福祉論第2版

赤木正典・流王治郎 編著

社会的養護論（第2版）

流王治郎・赤木正典 編著

子どもの保健 I

堀 浩樹・梶 美保 編著

子どもの保健 II

山崎知克 編著

子ども家庭福祉第2版

浅井春夫 編著

保育の心理学ワークブック

本郷一夫 編著

造形表現・図画工作

磯部錦司 編著

保育・教育職の実践演習

増田まゆみ・矢藤誠慈郎 編著

生活支援のための調理実習第2版

田崎裕美・中川英子 編著

言語聴覚療法シリーズ15

清水充子 編著

改訂 摂食・嚥下障害

清水充子 編著

学術機関向け電子書籍サービス

図書館・研究所などで利用する、オリジナルプラットフォームで閲覧できる学術図書に特化した電子書籍提供サービス。

紀伊國屋書店NetLibrary／丸善 eBook Library

教科教育百年史／造形教育事典／新食品分析ハンドブック／食品保蔵・流通技術ハンドブック／調理科学実験ハンドブック／日本人の生活／服飾史・服飾美学関連論文要旨集1950～1998／服飾史・服飾美学関連論文要旨集1998～2008／変動する家族

21世紀の調理学シリーズ 全7巻

（以下、丸善 eBook Library のみ取扱）

TACS看護学シリーズ

疾患モデル動物／分子栄養学概論／栄養学と成人病／フーリーラジカルと疾病予防／世界の食事指針の動向／大豆タンパク質の加工特性と生理機能／高齢者の食と栄養管理／脳と栄養／脂質栄養と健康／食品の生理機能評価法／アミノ酸の機能特性／栄養学研究の最前線／肥満と脂肪エネルギー代謝／テラーメイド個人対応栄養学

学校用プラン（教員用サイト）の主な機能

○学生の利用状況、成績を一括管理。成績の比較・分析も可能。○小テスト作成機能。作成した小テストは学生用サイトに更新。

個人用プラン（学生用サイト）の主な機能

○模擬試験・分野別・ランダムなどさまざまな形式で学習。○科目ごと、試験ごとの成績管理機能。

管理栄養士国家試験 eラーニング

▼国家試験の過去問題、解答・解説を収載したeラーニングシステム。過去問対策から成績管理まで、国家試験対策を完全サポート（個人用プラン）5000円（税別）（3年間ライセンス契約）（学校用プラン）110000円（税別）（1年間ライセンス契約）※学校用プランには教員用サイトが無料で付属

国立健康・栄養研究所 の歴史と研究

古 野 純 典

平成三十二年(二〇二〇年)に東京オリンピックが開催される。その年が国立健康・栄養研究所の設立一〇〇周年になる。大正九年(一九二〇年)九月十七日に内務省所管「栄養研究所」が設立された。初代所長の佐伯矩(さえき・ただす)博士は公衆衛生の中核的学問としての栄養学を提唱された。一九八〇年代に国の健康政策に運動による健康増進が取り上げられるようになり、研究所は平成元年(一九八九年)に「国立健康・栄養研究所」に改称された。平成十三年(二〇〇一年)に独立行政法人となり、研究所には国の健康政策に資する計画的な研究が求められている。

研究部門には、栄養疫学、健康増進、臨床栄養、栄養教育、基礎栄養および食品保健機能の各部があり、加えて、情報センターと国際産学連携センターがある。

栄養疫学研究部は国民健康・栄養調査と食事基準値策定にかかわる研究を行っている。国民健康・栄養調査の結果は「国民健康・栄養の現状」として出版されている。以前には欠乏症の回避を目的とした栄養所要量が策定されていたが、平成十七年(二〇〇五年)からは生活習慣病予防と健康増進を目的とした「日本人の食事摂取基準」が策定されている。健康増進研究部では運動と栄養の併用効果

を研究テーマとしてヒト研究を行っている。臨床栄養研究部は糖尿病の遺伝・環境要因および分子病態を研究している。栄養教育研究部は食育基本法(平成十七年)と食育推進基本計画(平成十八年)に対応した研究部である。基礎栄養研究部ではエネルギー・主要栄養素の代謝研究が行われている。「日本人の食事摂取基準二〇一〇年版」までは推定エネルギー必要量が示されていた。エネルギー必要量は基礎代謝量に身体活動レベル(通常PALと呼ばれる)を加味して推定される。二重標識水法で測定されるエネルギー消費量を基礎代謝量で除したものがPALである。二重標識水法はエネルギー消費量測定国際標準である。本年十月十三日に「二重標識水法によるエネルギー代謝評価の基礎と応用」と題する国際ワークショップが研究所で開催される。「日本人

の食事摂取基準二〇一五年版」では従来の推定エネルギー必要量も参考値として表示されているが、理想的なBMIを達成・維持するために必要なエネルギーを算出することが提言されている。健康食品に対する国民の関心が高まっている。食品成分の機能性と安全性の研究は食品保健機能研究部が担っている。情報センターでは健康食品の安全性・有効性情報をホームページで提供している。研究所は今年、栄養と身体活動のWHO協力センターに指定される。

二〇一四年度診療報酬改定と 摂食嚥下リハビリテーション

矢 守 麻 奈

二〇一四年度診療報酬改定が施行されて、数か月が経過した。各施設で長期的影響が明らかになるには、半年から一年を要するだろう。

言語聴覚士に関連深い項目として、①回復期リハビリテーション(以下リハ)病棟の見直し、②認知症患者リハ料の新設、③急性期病棟へのリハ専門職の配置、④胃瘻造設前嚥下機能検査の評価、⑤経口摂取回復促進加算への専従言語聴覚士の配置等がある。言語聴覚士が急性期・回復期・維持期の患者に以前から行ってきた言語聴覚・認知・摂食嚥下リハの効果認められ、普及が促進されるのは、ひとまず嬉しい限りである。

しかし、疑問点もある。二〇一四年度診療報酬改定が施行されて、数か月が経過した。各施設で長期的影響が明らかになるには、半年から一年を要するだろう。

言語聴覚士に関連深い項目として、①回復期リハビリテーション(以下リハ)病棟の見直し、②認知症患者リハ料の新設、③急性期病棟へのリハ専門職の配置、④胃瘻造設前嚥下機能検査の評価、⑤経口摂取回復促進加算への専従言語聴覚士の配置等がある。言語聴覚士が急性期・回復期・維持期の患者に以前から行ってきた言語聴覚・認知・摂食嚥下リハの効果認められ、普及が促進されるのは、ひとまず嬉しい限りである。

しかし、疑問点もある。二〇一四年度診療報酬改定が施行されて、数か月が経過した。各施設で長期的影響が明らかになるには、半年から一年を要するだろう。

言語聴覚士に関連深い項目として、①回復期リハビリテーション(以下リハ)病棟の見直し、②認知症患者リハ料の新設、③急性期病棟へのリハ専門職の配置、④胃瘻造設前嚥下機能検査の評価、⑤経口摂取回復促進加算への専従言語聴覚士の配置等がある。言語聴覚士が急性期・回復期・維持期の患者に以前から行ってきた言語聴覚・認知・摂食嚥下リハの効果認められ、普及が促進されるのは、ひとまず嬉しい限りである。

「生きる営み」としてのアー・「知を統合する作用」としてのアー・保育界や教育界においてアー・への眼差しが少しずつ変化していることを実感します。

日本の教育の歴史を辿ってみると、大正時代の自由画運動や戦後の生活主義や創造美術運動など、民主主義の実現ともかわりながら、子どもの表現教育に目が向けられた時代は過去にもありました。今日では、情報化の急激な発展や、物にあふれ人とモノが二元化してしまった状況など、現代社会への危機感が、アー・への期待を膨らませているようにも思えます。

しかし、教育における現状は、作品の出来栄や上手下手の評価による作品主義、結果主義、効率主義、表現教育の軽視においてアー・が扱われているということ

は否めません。これは教育の問題だけでなく、社会風土の中にある

味、子どもが生得的に持ち得ている味、子どもが置かれてきた味。例えば、二〇〇〇年初頭、レッジョ・エミリアの実践が日本へ紹介されること

によって幼児教育においてもアー・という言葉は注目され、また「保育」という本

からではないでしょうか。

「芸術は知を統合する」(J・デューイ)、「芸術は教育の基礎である」(H・リード)、「人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ」(R・フルガム)等の言葉にみられるように、教育においてアー・は「アー・すること」、つまり

日本の教育は、真新しいことに目を向け方法的に受け入れようとしますが、足元にあるこれまでの日本の過去の実践に目を向けたとき、そこにも表現と生活を真摯につなげ扱う実践は多様に存在してきました。今、重要なことは、本質的なものを大切にしながら、日本の子どもたちに根差した教育を足元に創造していくことだと考えます。その手段として、アー・は大きな役割を果たすものとして期待されます。

保育・教育界における アー・への眼差し

磯 部 錦 司



磯 部 錦 司

世界の教育・福祉の先進国をみると、それらの国々は芸術に対する理解も深いように思われます。それは、「教育、福祉、芸術をどうとらえるか」ということが、現代社会のさまざまな問題に通底する共通の視点となっているからではないでしょうか。

「保育者としてのアー・形成論」

「現代の社会福祉」

「医療的ケア」

「高年齢者の言語聴覚障害」

「支援のボイント」

「保育者としてのアー・形成論」

「現代の社会福祉」

「医療的ケア」

「高年齢者の言語聴覚障害」

「支援のボイント」

「保育者としてのアー・形成論」

「現代の社会福祉」

「医療的ケア」

「高年齢者の言語聴覚障害」

「支援のボイント」

近 刊 案 内

平成26年9月以降刊行予定。等価表は別添付。価格が異なる場合があります。

Nブックス		
三訂 栄養学総論	林 淳三 編著	B5 216頁 2400円
三訂 基礎栄養学	林 淳三 監修 木元幸一・鈴木和春 編著	B5 224頁 2500円
四訂 応用栄養学	江澤郁子・津田博子 編著	B5 264頁 2800円
改訂 栄養指導論	相川りえ子 編著	B5 176頁 2100円
四訂 臨床栄養管理	渡邊早苗・寺本房子 編著 松崎政三	B5 264頁 2800円
五訂 公衆栄養学	八倉巻和子・井上浩一 編著	B5 232頁 2700円
調理科学(第3版)	森高初恵・佐藤恵美子 編著	B5 216頁 2500円

三訂 マスター応用栄養学		
改訂 マスター栄養教育論	逸見幾代・佐藤香苗 編著	B5 208頁 2600円
改訂 応用栄養学実習	五関正江・小林三智子 編著	B5 216頁 2600円
―ケーススタディで学ぶ― 栄養マネジメント―		
応用栄養学実習書	柳沢幸江・松井幾子 編著	B5 192頁 2300円
六訂 給食管理実習―校外編	給食管理研究会 編著	B5 80頁 1800円
―給食管理実習―		
臨床実習マニュアル	寺本房子 編著 渡邊早苗 松崎政三	A4 136頁 2400円
―臨床栄養学(第5版)―		
改訂 臨床栄養管理ポケット辞典	松崎政三・福井富穂 編著 田中 明	B6 368頁 2700円
改訂 子どもの食と栄養実習	小川雄二 編著	B5 232頁 2600円
改訂 子どもの食と栄養	小川雄二 編著	B5 192頁 2300円

Nブックス		
新編 社会福祉概論	金子光一 編著	B5 168頁 2300円
調 理 学	フッドサービスリスト協会 編著	A5 180頁 未定
HACCP管理者テキスト	日本食品保蔵科学会 HACCP管理者認定委員会 編著	B5 200頁 2400円
なぜからはじめる教育原理	池田隆英 楠本恭之 中原朋生 編著	B5 160頁 2000円
保 育 職 論	松本峰雄 安藤和彦 高橋司 編著	A5 192頁 1900円
保育者のための キャリア形成論	石川昭義 小原敏郎 編著	B5 160頁 2000円
事例で学ぶスーパービジョン	吉弘淳一 横井一之 編著	A5 192頁 2000円
現代の社会福祉	都築光一 編著	A5 248頁 2500円
介護福祉士養成テキスト	荻原順子 袴崎京子 編著	B5 256頁 未定
医療的ケア		
高年齢者の言語聴覚障害	飯干紀代子・吉畑博代 編著	B5 180頁 2700円
―症例から学ぶ評価と支援のボイント―		